

# 2017(平成29)年度 事業報告書

公益財団法人和歌山県人権啓発センター

## 2017(平成29)年度事業報告

	事業名	事業内容
学 び の 場 の 提 供	人権ライブラリー (閲覧室運営) 744, 571	人権に関する図書・ビデオ・資料等を整備し、閲覧や貸出を行った。 (整備状況：図書5,272冊、ビデオ491本) ※利用者数：3,969人
	人権を考える公開講座 283, 467	県民を対象としセミナーやワークショップを開催した。 ○セミナー (2回) 「スマホ・ケータイ安全教室」 講師：松尾恭志さん (KDDIスマホ・ケータイ安全教室事務局 派遣講師) ①7/8 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛会議室(39人参加) 「共に生きるー多文化共生とはー」 講師：城山雅宏さん (公益財団法人国際交流協会 外国人生活相談室長) ②9/30 海南市民交流センター (40人参加) ○ワークショップ(2回) 「ありのまま。自分のままで。ーセクシュアルマイノリティと性の多様性ー」 ファシリテーター：桜井秀人さん (一般社団法人glitter代表理事/LGBTプライダルプランナー) ①12/2 和歌山県立情報交流センターBig・U (26人参加) ②12/10 橋本市教育文化会館(18人参加) ○体験・体感・人権フィールドワーク (2回) 障がい者の社会参画の現状となる事業所を見学し、人権について学んだ。 「ばん工房かたつむり見学ツアー ～就労支援事業所ってどんなところ?～」(海南市) 講師：山添高道(社会福祉法人一峰会 理事) ①7/25 (参加者23人) ②8/4 (参加者21人)
	人権感覚を育てよう 687, 331	幼児向け啓発プログラム『みんな、たいせつ』(平成22年度開発)の講師養成のほか、幼稚園・保育所等でのプログラム実践、啓発手法周知のワークショップを開催した。 ○講師養成セミナー (2回) ①6/29 御坊保健所 (30人参加) ②6/30 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 (25人参加) ○参加型講座/親子向けワークショップ (2回) ①8/26 岩出市民俗資料館 (10組27人) ②8/27 田辺市文化交流センターたなべる (16組38人) ○プログラム出張講座 (13ヶ所) *応募20ヶ所から抽選 対象3～5歳児とその保護者、保育者(延べ585人受講) ①9/14 日高川町立みやま保育園 ②9/15 日高川町立寒川保育園 ③10/12 岩出市立上岩出保育所 ④10/13 有田川町立金屋第一保育所 ⑤10/19 コスモス保育園(有田川町) ⑥11/1 和歌山市旭学園 ⑦11/13 粉河保育園(紀の川市) ⑧11/13 こうま保育園(和歌山市) ⑨11/17 有田川町立金屋第二保育所 ⑩11/22 さつきこども園(和歌山市) ⑪11/22 たから幼稚園(和歌山市) ⑫12/6 芳養保育所(田辺市) ⑬1/18、1/19 つくし幼保園(和歌山市)

<p>人権を大切にすることを育てる保育研修 192,000</p>	<p>保育士、幼稚園教諭を対象に「子どもの人権を大切にすることを考える研修会」を開催した。(2回) (午前) 講演：「子育ての現状と親子関係を考える ～子どもへの魔法の言葉とは?～」 講師：柳川敏彦さん(和歌山県子どもの虐待防止協会事務局長、和歌山県立医科大学看護学部教授) (午後) ワークショップ：「子育ての現状と親子の関係を考える～前向き子育てとは?～」 講師：家本めぐみさん(toddleわかやま代表) ① 12/8 紀南会場・田辺市 (26人参加) ② 12/15 紀北会場・和歌山市(74人参加)</p>	
<p>人権啓発支援事業 300,667</p>	<p>中小企業の経営者及び研修担当者を対象に、誰もが働きやすい職場づくりを支援するための講座を開催した。 ○「イライラに振り回されない職場づくりーアンガーマネジメントとコミュニケーションー」 講師：浅見葉子さん(リーフコミュニケーション代表) 9/12 和歌山市 (47人参加) 参加企業 (13社)</p>	
<p>人権研修への講師派遣 391,992</p>	<p>「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」締結団体から、県への人権研修講師派遣依頼に基づき、センター登録講師等を派遣した。 (38回派遣、対象2,769人)</p>	
<p>講師派遣 23,046</p>	<p>市町村・企業・団体からの要望を受けて、センター職員を人権研修等の講師として派遣した。 (34回派遣、対象1,208人)</p>	
<p>考えるきっかけと素材の提供</p>	<p>人権ギャラリー(研修室運営) 368,860</p>	<p>NP0団体等への人権に関する作品展示スペース及び研修室として貸出を行うとともに、市町村・企業等にパネル貸出を行った。 ○障がい者市民の夏祭り作品展 (7/24～8/7、来場者55人) ○人権企画展「みんなにやさしい、みんなにうれしい。ユニバーサルデザイン」(8/14～9/1、来場者121人)</p>
	<p>ポスター・人権の詩募集 497,546</p>	<p>○人権に関するポスターを募集、優秀作品を表彰し、展示した。最優秀作品(小・中・高校各1点)を「人権を考える強調月間、同和運動推進月間」用啓発ポスターとして作製し、活用した。(応募総数4,369点) ○日常生活の身近な人権をテーマに「人権の詩(こころのうた)」を募集、優秀作品を人権フェスタにおいて表彰し、展示した。(応募総数2,885点) ※受賞作品集「つたわるココロ。ー第8章ー」作成(6,500部)</p>
	<p>ふれあい人権フェスタ2017 8,025,000</p>	<p>NP0をはじめ各種人権関係団体等と協働し、楽しい雰囲気の中で人権を考え多様な体験が出来るフェステイバルを開催した。「りいぶるフェスタ」、「わかやまこころのフェスタ」と同時開催し、効果的な啓発を実施した。 ○11/11(和歌山ビッグホール) 出展数：176団体、来場者数：6,800人 内 容：ブース展示、パネル展示、ステージイベント、人権啓発資料展、ワークショップ、模擬店、各種体験コーナー</p>
	<p>人権を考える強調月間・同和運動推進月間 528,164</p>	<p>「同和運動推進月間」(11/1～11/30)及び「人権を考える強調月間」(11/11～12/10)に集中的な啓発活動を展開した。 ○街頭啓発(11/1)JR和歌山駅前 ○人権啓発ポスター作成(2,000枚)・配布等 ○同和運動推進月間特別講演会(11/15) 「同和問題とインターネット」 講師：松井修視(関西大学社会学部教授) 場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ(190人参加)</p>

	啓発資料の作成 1,252,972	啓発冊子や資料等を作成し、人権研修会等に活用いただいた。 ○「違いを生きる。違いと生きる。－多文化共生と人権－」 ※印刷5,000部 ○「同和問題の解決をめざして－部落差別の解消の推進に関する法律の成立－」 ※印刷11,000部 ○「人生（とき）を重ねて－豊かに生きる－」 ※印刷3,000部
情報の収集と提供	センター自主事業 (情報誌等作成) 1,899,393	人権関連活動の取材記事等を掲載したセンターだより『E. L. F. (エルフ)』を作成した。 ○『E. L. F. 』4回(各7,000部)、A4/12頁、全頁ルビ・音声コード付き
	ホームページ運営 286,305	人権に関する情報提供やセンター事業広報のため、ホームページを運営し、様々な情報をインターネットを通じて発信を行った。
	講師バンク	センター設置の人権課題ごとに登録された講師バンクへの登録講師の充実を図り、市町村や事業所、各種団体等の要望により人権研修等の講師を紹介した。 (登録講師数：47人、紹介回数54回、対象7,791人)
人権相談	人権相談 3,128,000	人権電話相談「人権ホットライン」や来所による相談に対し、問題解決の視点から助言等を行った。 また、弁護士による法律相談を実施した。 ○電話相談 84件 面接相談 7件 メール・FAX等 1件 ○法律相談 9件 計 101件
センター運営	7,802,124	センター維持管理経費として、以下の経費を支払った。 事務室使用料、共益費、光熱費、公用車管理費、 理事会・評議員会開催経費等
人件費	54,702,374	公益目的事業・センター運営に係る職員の人件費等の支払いと職員退職にかかる準備として積立を行った。
計	81,113,812	

※補足すべき重要な事項は無いので、事業報告の附属明細書を作成しておりません。